

平成30年度 天龍村社会福祉協議会事業報告

平成30年度3月末現在の天龍村の総人口は、1,327人と前年度末に比べ、53名減少しており、また、高齢化率は60.286%と、前年比約1.6%上昇し、村全体の人口が減少する中で、高齢人口は年々増加しているという状況下、30年度の事業計画を基に、村の福祉の拠点として、村と連携を図りながら各地域の現状の把握に努め、「高齢になっても、生きがいを持ち続け、住み慣れた地域で自分らしく、最後まで安心して暮らせるように」という理念に基づき、支え合いの地域づくりの推進として、今年度は、新たに梨畑地区でもふれあい会を開催し、地域の明るさや続いてきた絆が残るような支援を図りました。

今後も介護に対する需要の増加が見込まれる中、村民の皆さんが安心して健やかな暮らしの継続ができる地域づくりの構築に向け、人々の結びつきを深める支援を実施していきたいと思えます。

整備面では、特養において平成8年度から平成11年度にかけて導入した介護ベッドを更新しました。デイサービスにおいては、開設当初以来使用している器械浴の特殊浴槽から一般浴を利用するリフト浴へ変更し、介護職員の負担軽減及び入所者・利用者への安心安全の確保に努めました。

財政面では、非常勤職員から正規職員への転換に関するキャリアアップ補助金申請をし、150万の補助金が交付されました。また、各事業所それぞれの分野において、介護報酬を中心とした安定した収入の確保を目指し、予算額に対する目標の達成に向けた努力をした結果、特養天龍荘の介護報酬収入につきましては、5%以上予算を上回りました。また、養護天龍荘につきましては、30年度に受託事業である村短期宿泊事業の単価を上げてもらい、前年対比は171.1%と伸び、介護報酬収入及び措置費収入の両面において、予算を若干上回る結果を残すことができました。

本部拠点につきましても、通所介護事業では前年比は96.7%と下がりましたが、予算に対しては103.2%、通所型に関しましては、前年比の約3倍の274%の実績でした。訪問介護事業も好成績で、前年比118.2%の結果となり、介護支援事業所に関しましても、前年比109.4%と良い結果になっておりますが、収支差額では、上記の設備を導入したことにより、若干のマイナスとなりました。

人事に関しましては、職員の個々の成長と資格取得、全体のレベルアップに繋がるべくそれぞれの研修への参加推進を行い、今年度1名が介護福祉士の資格取得することができました。また、働き甲斐のある職場づくりに努める一方、人材確保に繋げるための東京都開催「IU ターン移住・定住相談会」への参加、「シングルペアレント介護人材育成事業」を導入実施している島根県浜田市へ、村同行による視察研修を実施しました。なお、中途退職に伴い、やむなく民間派遣会社からの充足も実施。ハローワークをはじめとする募集も年間を通じ継続実施しました。

当社会福祉協議会の職員につきましても年々高齢化が進み、令和4年度末には70歳に到達する職員が19名以上となることを見込まれ、今後新たな人材の確保をどのように進めていくかが大きな課題となります。また養護の定員の問題につきましても、引き続き「天龍村福祉施設計画策定委員会」を中心に検討を進めて参ります。

【本部拠点】

【法人運営】

1. 平成30年度社協会員の状況

会費区分	平成30年度		平成29年度		平成28年度	
	会員数	会費総額	会員数	会費総額	会員数	会費総額
一般会員(1,000円)	435人	435,000円	438人	48,000円	458人	458,000円
賛助会員(3,000円)	58人	174,000円	60人	180,000円	69人	207,000円
特別会員(10,000円)	4人	40,000円	4人	40,000円	4人	40,000円
合計	497人	649,000円	502人	658,000円	531人	705,000円

☆ 対前年比 5名 減

2. 理事会・評議員会開催状況

6月26日	第2回理事会開催 1. 平成29年度事業報告及び決算の承認について 2. 平成30年度補正予算(第1号)の承認について 定時評議員会開催 上記理事会の議案に同じ
11月27日	第3回理事会開催 1. 平成30年度補正予算(第2号)専決処分の承認について 2. 平成30年度中間決算の承認について 第3回評議員会開催 上記理事会の議案に同じ
3月26日	第1回理事会開催 1. 平成30年度補正予算(第3号)専決処分の承認について 2. 平成31年度事業計画及び当初予算(案)の承認について 3. 評議員選任・解任委員会運営規程の1部変更の承認について 4. 天龍村社会福祉協議会事務局長の選任・解任の承認について 第1回評議員会開催 1~2までは上記理事会の議案に同じ 3. 役員等報酬規程の1部変更の承認について 報告1. 天龍村社会福祉協議会事務局長の選任・解任の承認について

3. 法人全体の職員配置

(平成31年3月31日現在)

事業所	職員配置人員	備考
法人本部	正規1名 嘱託2名	
訪問介護	嘱託2名 非常勤2名	
在宅福祉	非常勤1名	
デイサービス	正規3名 嘱託1名 非常勤7名	
介護支援	正規2名	
特養天龍荘	役場派遣1名 正規18名 嘱託8名 非常勤10名	
養護天龍荘	民間派遣1名 正規11名 嘱託4名 非常勤7名	

① 新規人材の確保

- ・ハローワーク及び新聞折り込みチラシ（年2回）での求人募集
- ・長野県社会福祉協議会及びナース看護センターより福祉人材紹介の依頼
- ・人材派遣会社ナイス介護・人材紹介会社医療ワーカー等へ紹介依頼

平成30年4月13日 「EPAによる外国人介護福祉士受け入れセミナー」東京
 平成30年4月19日 「コア学園及び飯田女子短期大学」の学校訪問
 平成30年7月8日 「信州で暮らす・働くフェア」（東京開催）
 平成31年1月12日 「IUターン移住・定住相談会」就職セミナー（東京開催）
 平成31年1月31日 「シングルペアレント介護人材育成事業」の視察
 島根県浜田市
 平成31年3月1日 「福祉の職場説明会」飯田市シルクプラザ
 平成31年3月12日 「新たな外国人受入に係る制度説明」長野市
 平成31年3月13日 「ふるさと就職ガイダンス」飯田市シルクプラザ

<村内回覧> 平成31年度分 新規採用職員の募集を実施

② 採用状況

正規職員 4名 (4月3名・12月1名) ※内1名5月末退職
 嘱託職員 2名 (7月・9月)
 派遣職員 2名 (6月・1月) 養護栄養士・特養介護員 2月末退職

4. ボランティア関係

平成30年12月 8日 天龍村地区ボランティア交流会 10名参加
 平成31年 2月24日 飯伊ブロックボランティア交流会 (根羽村)

5. 共同募金配分事業

募金額

区分	平成30年度		平成29年度		増減	
	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額
戸別募金	502件	264,346円	539件	284,398円	△37件	△20,052円

配分額

	平成30年度	平成29年度	増減
配分金額	208,398円	208,787円	△389円

配分金は、お達者惣菜、身障者福祉協会、ボランティア活動等へ配分しております。

6. 生活福祉基金貸付事業

長野県社協貸付事業の受付相談窓口として、生活福祉資金の貸付が必要となった世帯（低所得者高齢者・被災者等）へ各資金貸付に必要な書類受付、確認、連絡、送付等事務を行います。今年度、受付 1件 1名

7. まいさぼ飯田出張所相談窓口

相談実績 上記の生活福祉資金貸付に伴う相談 1件

8. 広 報

(1) 社協だより 各戸配布 年2回（8月、1月発行）

(2) 社協ホームページによる公開

・現況報告・事業計画・事業報告・予算書・決算書・役員等報酬規程・役員名簿

9. 団体事務局

各団体の事務局として、年間を通じ側面的に必要なサポートを実施しました。

老人クラブ連合会	会員数	310名
遺族会	会員数	42名
身体障害者福祉協会	会員数	33名
婦人会	会員数	53名

【在宅福祉】

1. 外出支援受託事業（巡回福祉バス）

稼働日

運行日	月曜日	水曜日	金曜日
運行地区	原地区	神原地区	上平地区

利用者状況

（平成31年3月31日現在）

	登録者数	延利用人数	稼働日数	走行距離数
平成30年度	59名	629人	124日	4,783キロ
平成29年度	61名	638人	143日	5,419キロ
平成28年度	67名	619人	146日	5,259キロ

2. 福祉車両の貸出

歩行困難な方や車イスの方の通院等の利用に、福祉車両の貸出を実施しました。

貸出件数

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
車椅子対応車両	30 件	19 件	5 件

3. 在宅支援事業

(1) 宅配弁当

在宅生活を継続していただくための重要な役割としての取り組みの継続事業。

週2回 火曜日・木曜日 1食500円

配達ボランティア 5 名

利用実績

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用実人数	12人	13人	10人
配達延食数	665食	678食	664食
利用料金	332,500円	339,000円	332,000円

(2) お達者惣菜

月2回 第2・第4金曜日 @200円×30食

配達部門 配達ボランティア 6名

お惣菜調理部門 味の開発研究会 岡本集会所（味開調理場）

(3) 家族介護者交流会事業

平成30年7月12日 遠山郷 「ヤマメ荘」昼食を兼ね交流会を実施

介護者家族参加者 7名

日ごろの介護の悩みなど話すなど意見交換を行なう。普段の介護から少しの間解放され、リフレッシュしていただくことを目的として実施。

(4) 住民支え合いふれあい会

実施日	地区名	内 容
6月7日（木）	梨 畑	第1回目 ・自力整体 ・昼食会 ・マギー遠山手品ショー
9月20日（木）	向 方	第2回目 ・昼食会（希望者へ宅配実施） ・籠作り教室 みんなで、会話しながら手作業
（予定） 11月8日 中 止	大 河 内	第3回目 （H29年度～3回目を迎え、今回五平餅会&カラオケを予定。葬儀により中止

【共同住宅】

3月末入居者状況（ 10部屋 満室 入居 10世帯 14名 ）

遠方にお住まいの家族に代わり、ご本人のやすらぎと安全の確保に努め運営しました。

夏には、熱中症予防を兼ねたお茶飲み会を開催。年末には、おせち料理、3月には雛祭り昼食として、手作り弁当をお配りしました。

身体機能の低下により入浴が困難な方もあり、デイサービスの利用及び訪問サービスの利用者が大多数という状況ですが、常に本人の意思を尊重しながら、親切で丁寧な対応を心掛け側面的にサポートを実施しました。

設備面に於いて、経年劣化によるエアコンの不具合が生じ、補正対応により、一部の居室を新しい器具と交換。残りの部屋についても今後必要となることを見込まれます。

平成30年11月 飯田保健所へ調理室の飲食店営業許可申請を実施し、平成31年2月梅花駅伝の際商工会女性部に「五平餅」を作成するための貸出を行いました。なお、それに伴う水回りの一部修繕、調理室トイレの改修を行うとともに、長野県消毒公社へ依頼し、滅菌・消毒、防虫駆除を実施しました。

・第1回 防災訓練 9月 3日（月）16:00～ 16:30

・第2回 避難訓練 3月11日（月）16:00～ 16:30

【訪問介護事業】

村の地域包括支援センター（住民課）及び居宅支援事業所と連携をとりながら、認知症等困難な事例もありますが、利用者の意思を最大限尊重し、利用者は何が必要とされているかを常に念頭に置き、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供を行いました。

1. 介護保険法に基づく訪問介護

①訪問介護

[利用状況]

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年間利用実人数(月平均)	225人(18人)	215人(18人)	168人(14人)
身体介護利用回数	3,179回	1,426回	1,020回
生活介護利用回数	1,128回	2,403回	2,626回
身体生活利用回数	12回	17回	29回

②予防訪問介護・総合事業

[利用状況]

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年間利用実人数(月平均)	58人(5人)	56人(5人)	66人(5人)
総合事業	488回	128回	
予防訪問介護Ⅰ		64回	67回
予防訪問介護Ⅱ		81回	286回
予防訪問介護Ⅲ		88回	187回

2. 受託事業（訪問生活支援事業）

① 生活管理指導員派遣事業及び精神障害ホームヘルプ事業

[利用状況]

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
生活管理指導員派遣事業	234回（4人）	149回（6人）	88回（8人）
精神障害ホームヘルプ	12回（1人）	12回（1人）	11回（1人）

【通所介護事業（デイサービス事業）】

運営方針である「親切に・丁寧に・誠実に・安全に」を遵守し、利用者の生きがいとなる施設を目標に、昨年度から継続してカレンダーやカバンなどの作成等、簡単なリハビリ作業を取り入れるなど改善を図りました。

また、他の利用者との交流を図る事により、在宅の高齢者の生活にメリハリをもっていただけ、能力に応じた個々の生活が保持できるよう、月2回、リハビリ運動インストラクターによる運動教室の開催、その他の利用日には職員による運動教室や室内レクリエーションを取り入れています。今年度11月から新たに、理学療法士を新規採用し、身体機能の低下防止を図るべく運動による指導も実施しました。恒例の季節の行事として、春（4月）には「いちご狩り」、秋（9月）には「ぶどう狩り」を行い、利用者の心身のリフレッシュを兼ねたお楽しみ日帰り外出会を行い、喜ばれるサービスに努め、運営しました。

1. 介護保険法に基づく通所介護

①通所介護

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用延人数	2,947人	3,154人	3,058人
内訳 介護1	1,744人	1,917人	1,440人
介護2	541人	454人	951人
介護3	364人	461人	220人
介護4	127人	174人	189人
介護5	171人	148人	258人

②予防通所介護・総合事業

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用延人数	436人	251人	234人
内訳 総合事業	223人	40人	
要支援1	64人	116人	74人
要支援2	149人	95人	160人

2. 受託事業

① 生きがい活動通所介護支援事業

	平成30年度	平成29年度	平成28年度
利用延人数	147人	302人	282人

<年 間 行 事>

月	運 営	レクリエーション	月	運 営	レクリエーション
4	新規通所者PR月間	お花見 いちご狩り	10	中学生福祉の職場体験	ハロウィン
5	年間スケジュール検討 小学校との交流事業	室内レク リハビリ体操	11		運動会 室内レク リハビリ体操
6	食中毒予防月間 荘内清掃	室内レク リハビリ体操	12	火災予防 年末清掃 小学校との交流事業	忘年会
7	熱中症予防	七夕 リハビリ体操	1	予算編成・事業計画	新年会
8		室内レク リハビリ体操	2	感染症予防	室内レク リハビリ体操
9	避難訓練 (火災想定) デイサービス運営協議会 9/29	ぶどう狩り 室内レク リハビリ体操	3	デイサービス運営協議会 3/22 避難訓練(火災想定) 地下タンク点検 浴室循環器清掃 消防設備点検 物品棚卸	ひな祭り会 室内レク リハビリ体操

【居宅介護支援事業】

本人、家族の変化する状況や思いを、その都度お聞きし、本人の立場に立って考え、サービス事業者等とのカンファレンスを通してチームで共有・連携し、ケアプランやサービス内容の変更に対応してまいりました。また、住民課や包括支援センターとのケア会議にて、早い段階での情報共有や連携によりスムーズな対応がとれるようにすると共に、困難事例も相談しながら支援にあたってまいりました。

1. ケアプラン作成状況（延べ人数）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成30年度	322人	137人	85人	37人	51人	632人
平成29年度	351人	68人	75人	54人	36人	584人
平成28年度	270人	118人	58人	54人	54人	554人

2. 新規契約・契約解除・介護認定調査

		平成30年度	平成29年度	平成28年度
新規契約		31人	21人	32人
解約理由	死亡	13人	11人	10人
	入所等	13人	7人	8人
	転出等	1人	4人	2人
認定調査数		0人	0人	21人

【本部拠点職員研修・出張】

月	研修・出張内容	備考
4	倫理規定・職員のモラル（守秘義務）周知 共同募金事務担当者会議（塩尻市） EPAによる外国人介護福祉士受け入れセミナー	全職員（非常勤含む） 事務員 会長・事務局長
6	信州介護人材誘致事業説明会（茅野市）	事務局長
7	各介護保険事業所集団研修（駒ヶ根市） 介護支援専門員更新研修（松本市） 信州で働くフェア（東京都） 飯伊ブロック事務局長会議（飯田市）	各担当管理者 ケアマネ 事務局長 事務局長
8	長野県社協モデル事業会議（松本市）	事務局長
9	市町村社協経理事務研修（第1回）（松本市） 職員研修旅行（台風24号により中止）	事務員 全職員
10	飯伊社協ボランティアコーディネーター連絡会議 安全運転管理者講習会（阿南町） 飯伊ブロック事例検討会（飯田市） 事務局長研究協議会（湯田中）	事務局長 事務局長 ケアマネ 事務局長
11	食中毒・感染症予防研修会（飯田市）	デイサービス職員
12	ノロウィルス・インフルエンザ感染症予防研修 認知症ケア研修（飯田市） 社会福祉法人の運営に関する研修会（長野市）	デイサービス介護員 ヘルパー・相談員 事務局長
1	認知症ケア研修（飯田市） 南信州移住定住Uターン説明会（東京都） シングルペアレント介護人材育成事業（島根県） 市町村社協経理事務研修（第2回）（塩尻市） 特養をもっと良く知る研修会（飯田市）	介護員・ケアマネ 事務局長 会長・事務局長 事務員 ケアマネ
2	飯伊地区ボランティア交流研修会（根羽村）	事務局長
3	福祉の職場説明会（飯田市） 新たな外国人受入に係る制度説明会（長野市） ふるさと就職ガイダンス（飯田市）	事務局長 事務局長 事務局長

平成30年度特別養護老人ホーム天龍荘事業報告

1. 施設運営の概要

「喜びと安らぎをふれあいと共に支え合いたい」を目標に、利用者に対しより良いケアサービスの提供に努めています。

利用者の介護については、一人一人の身体能力やその状況に合わせた介護を行い、医療面については看護師、生活面についてはケアマネ、介護員、食事面については栄養士、調理員を中心に連携を図り、きめ細かな介護に配慮しました。

近年、選ばれる福祉施設の時代となり、入所者に配慮した介護体制の構築を目標に日々の業務改善と更なる意識改革に努めています。また、日常生活においては、年間計画に沿い季節行事を取り入れ、外出の機会を設ける等、精神面のリフレッシュに取り組んでいます。食生活については、栄養バランスを考慮しつつも、季節を感じていただく料理を取り入れ、誕生日には嗜好調査により好きな食べ物を提供しています。

ボランティア活動の受け入れについては、今年度も多くの皆さんに定期的に来荘いただき、荘周りの花壇や側溝の整備、窓ふき、清拭用の布切り等ご協力いただき、感謝の念に堪えません。

保健衛生面では、引き続き「感染症予防」を重点に取り組み、今年度新聞紙上を賑わしたインフルエンザの流行についても、職員2名が罹患したのみで抑えることが出来ました。冬期におけるインフルエンザ等の感染については引き続き慎重な観察、対応が必要な状況です。また、入所者の高齢化、新規に入所してこられる方の高齢化が顕著な中、嚥下障害による、肺炎も入所者の健康管理に関わる要注意点となっており、看護、介護の両面から目が離せない状況です。

安全面では、事故防止委員会を中心に、日常のヒヤリハットの場面や事故につながりかねない状況をその都度文書で報告し、毎月開催する対策委員会により、発生案件の検証と対策を行い、再発防止に努め、非常災害対策については、防火設備の確認、初期消火、避難誘導の手順等、非常時に即時対応出来るよう訓練を行いました。また、非常時には地域の皆さんの応援が欠かせないため、西原区、東原A区と災害等有事の際の協力応援協定を結び、村の地震総合防災訓練の日に合わせ、地域の方々に当施設の防災設備と避難経路の確認をしていただくなど協力をお願いしました。

設備面では、今年度、老朽化したエアコンの入れ替えを村にて実施して頂きますが、老朽設備も多く、引き続き村に対し協議を行い設備の維持を図る必要があります。

運営面につきましては、本入所者の介護給付費単価の落ち込みを、積極的な短期入所者の受入実施によりカバーし経営の安定化を計りましたが、短期入所者の減と、多床施設特有の男女の部屋割り比率が従前より男性利用者が多くなってきつつあり、男性居室と女性居室の配分について、慎重に検討していく必要があります。またスタッフの人材不足は、今後の施設運営の大きな懸念材料になっており、よりよい処遇と働き方改革との折り合いをどう付けていくかも、待ったなしで取り組まなくてはならない状況です。荘としましても、職員一丸となってこれらの諸問題に取り組み、入所者の皆様が、安心安全で快適な生活ができるよう、また、当荘が選ばれる施設となるよう努めて参ります。

利用者状況

1. 月毎の長期利用者状況（月末人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
女	46	46	46	46	45	45	45	46	45	46	45	45
計	50	50	50	50	49	49	49	50	49	50	49	49

※月末時、入退所及び入院により空床の時があります。

2. 入・退所者状況

（平成31年3月31日現在）（ ）は前年度の数値

	入所者数	入所前				退所者数	退所理由				
		居宅	施設	医療	他		居宅	施設	医療	死亡	他
男	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)
女	15 (11)	7 (4)	6 (3)	1 (3)	1 (2)	16 (11)	2 (0)	0 (1)	2 (0)	12 (10)	0 (0)
計	15 (13)	7 (4)	6 (4)	1 (3)	1 (2)	16 (13)	2 (0)	0 (1)	2 (0)	12 (12)	0 (0)

3. 介護度別入所者状況

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男	0 (0)	0 (0)	0 (1)	2 (3)	2 (0)	4 (4)
女	1 (0)	3 (3)	15 (14)	13 (16)	13 (13)	45 (46)
計	1 (0)	3 (3)	15 (15)	15 (19)	15 (18)	49 (50)

4. 年齢別状況

	60～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
男	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	2 (1)	0 (0)	4(4)
女	0 (1)	1 (2)	4 (5)	8 (8)	13 (11)	19 (19)	45(46)
計	0 (1)	1 (2)	5 (6)	9 (10)	15 (12)	19 (19)	49(50)

最高齢者 男 88歳 女 100歳

5. 在所期間の状況

	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	計
男	0 (2)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	4(4)
女	10 (6)	1 (5)	15 (17)	12 (10)	6 (5)	1 (3)	45(46)
計	10 (8)	1 (5)	17 (17)	12 (11)	7 (5)	2 (4)	49(50)

6. 入退所時 月別空床状況(退所から新入所までの空床ロス日数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
日数	0 (0)	0 (0)	14 (4)	7 (0)	19 (0)	37 (0)	28 (28)	44 (12)

月	12月	1月	2月	3月	計
日数	21 (2)	14 (23)	3 (16)	32 (8)	219 (146)

7. 入居者処遇状況

(1) 生活状況(介護)

食 事				排 泄			入 浴	
全介助	一部介助	自立	その他	全介助	一部介助	自立	特浴	一般浴
18 (23)	7 (10)	22 (23)	2 (0)	43 (40)	3 (5)	3 (2)	45 (47)	4 (3)

(2) 入院及び外泊 空床延べ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
人数	3 (6)	4 (6)	9 (2)	10 (4)	9 (3)	5 (3)	3 (2)	3 (6)
日数	19 (85)	37 (67)	128 (17)	131 (60)	71 (57)	108 (14)	36 (26)	38 (90)

	12月	1月	2月	3月	計
人数	3 (5)	9 (7)	9 (3)	2 (3)	69 (50)
日数	29 (63)	28 (65)	83 (123)	24 (36)	732 (629)

8. ショート利用者実績

年 度 計							
	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数		5 (3)	2 (2)	6 (9)	6 (7)	5 (5)	24 (26)
利用日数		341 (195)	104 (48)	403 (526)	388 (750)	220 (311)	1,456 (1,830)

9. 長期・短期利用者年度別実績

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
長期入所延数	17,782	17,692	17,812	17,520	17,916	17,915	18,104	18,004
利用率	97.17%	96.94%	97.60%	96.00%	98.17%	98.16%	99.20%	98.65%
短期利用延数	1,794	1,374	1,548	1,678	1,154	785	1,830	1,456
利用率	81.7%	62.7%	70.7%	76.6%	52.6%	35.8%	83.6%	66.5%

10. 主な行事

月	行事名	実 施 状 況
4月	花見ドライブ	4/4 3名 松島中電
	花見食会	4/19 50名 職員21名 食堂他
5月	屋外昼食会	5/17 53名 職員25名 特養庭先、2階ベランダ
	非難訓練	5/30 52名(入所者)21名(職員)
6月	喫茶会	6/21 45名 手作りケーキ、プリン、ジュース等
	外出会	6/24 3名 対象者のみ実施ニセンジ
7月		
8月	長野県知事選挙	8/2 不在者投票 投票者8名
	夏祭り	8/23 52名 綿菓子・かき氷 花火大会
9月	避難訓練	9/7 50名 職員 19名 地域の皆さんへの防災設備説明 13名参加
	敬老祭・家族会	9/28 50名 18家族26名 家族交流 藤 和也歌謡ショー お茶会
10月	満嶋神社秋祭	10/14 多数 氏子青年・神楽団・温古団 荘外にて披露、鑑賞
11月	外出会	11/15 3名 紅葉狩り
	運動会	11/22 45名 職員 11名 リハビリ室 玉入れ、他
12月	クリスマス会	12/22 45名 ケーキ会食 サンタからのプレゼント
1月	書き初め	1/2 8名
2月	節分	2/4 46名 豆まき
	寿司会	2/14 48名 飯田市「喜代志」より出張
3月	喫茶会	3/13 48名 蒸しパン、ケーキ、プリン、バナナジュース他

11. ボランティア 研修会等

受入日	団体名	内 容
毎月	理容組合	利用者散髪 毎月1回来荘
4月27日	個人	包丁研ぎ 宮澤好正氏 毎年2回
4月30日	個人	周辺の草取り、窓ふき 関口 修氏他8名 毎年1回
10月16～17日	天龍中学校	福祉体験学習 1名
10月28日	飯田信用金庫	居室換気扇清掃、窓拭き 8名 毎年1回
毎月	松島有志G	布切り 3名～4名

平成30年度養護老人ホーム天龍荘事業報告

1. 施設運営の概要

入所者の高齢化による病弱者の増加に伴い養護老人ホームとしての目的を果たすには厳しい状況ですが、利用者が一人ひとりのニーズと意思を尊重し、各自が持てる心身の機能を最大限に活かし、地域住民との交流を深め、社会性に富んだ日常生活が送れるよう、利用者寄り添った福祉サービスの実現に努めました。

日常生活については、年間行事計画に沿って外出の機会を多く設け、精神面の活性化を図りました。地域交流として恒例の盆踊り大会には、地域住民の皆さんの参加をいただき盛大に行われ、秋の運動会には保育園の園児たちも多数来荘して、競技に参加、お遊戯なども披露してくれて、世代を超えた交流が出来ました。

食生活については、季節感のあるメニューを提供するとともに、嗜好調査の結果による誕生者希望食、主食、副食バイキングを取り入れるなど、入所者のニーズに答え、栄養に十分配慮しながら喜ばれる調理に努めました。

保健衛生については、看護師を中心に「感染症予防対策委員会」を設置し、職員会などで注意点を再確認し、インフルエンザ、ノロウイルス等感染の予防に努めています。その他「身体拘束委員会」「虐待防止委員会」を設置し、職員間で発生事案を検討し、日々の処遇に反映しています。

安全面では、ヒヤリハットの場면을集約し、「身体拘束委員会」で報告、予防対策検討を図り、処遇会議で周知することにより事故発生を未然に防ぐよう努めるとともに、見守り強化に努めました。

非常災害対策では、年2回の避難訓練を実施し、予告なし訓練、出火場所の違いによる避難経路の再確認、村の地震総合防災訓練と合わせた訓練、消化器の取り扱い等を実施し、入所者の安全確保と職員の非常時対応に努めています。

また、運営面では、平成27年度からの入所者の定員割れ状況が解消されず、収入の確保に不安が生じている一方、介護員不足も発生しており、今後の施設運営について、特に入所者定員を再検討する必要性が生じ、平成31年度4月から、村、村議会議員、学識経験者、公募する住民代表等で委員を構成する「天龍村福祉施設計画策定委員会」を立ち上げ、養護天龍荘の定員削減の検討だけではなく、天龍村の福祉問題全体を検討していくことになっています。

設備及び施設面では、開設以来30年余りの経過から改修を必要とする箇所が発生しているため、村の総合計画にも改修計画を提出し、早期実施してもらえるようお願いしているところであります。

このような状況においても利用者と職員の相互理解、信頼をより深め、常に利用者を尊重した処遇に心掛けること、また、安心安全で更に楽しく生活できるよう努めて参ります。

利用者状況(平成31年3月31日現在:定員50名)

()は平成29年度

2. 入所者数(本入所)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
男	14(16)	15(16)	16(16)	16(16)	17(16)	17(16)	17(16)
女	33(34)	31(34)	32(34)	32(34)	31(34)	31(33)	31(33)
計	47(50)	46(50)	48(50)	48(50)	48(50)	48(49)	48(49)
	11月	12月	1月	2月	3月		
男	17(15)	17(15)	17(15)	17(14)	17(14)		
女	32(33)	31(33)	31(32)	30(33)	30(33)		
計	49(48)	48(48)	48(47)	47(47)	47(47)		

3. 介護度別利用者状況

介護度別	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	元気老人	合計
男	3(1)	4(4)	4(2)	2(2)	0(0)	0(0)	4(5)	17(14)
女	5(4)	9(12)	8(7)	2(2)	0(1)	0(0)	6(7)	30(33)
計	8(5)	13(16)	12(9)	4(4)	0(1)	0(0)	10(12)	47(47)

4. 年齢別・性別状況

	60~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~99	100歳	合計
男	2(4)	4(2)	1(0)	4(4)	5(3)	1(1)	0(0)	17(14)
女	0(0)	0(0)	1(1)	5(6)	14(12)	10(14)	0(0)	30(33)
計	2(4)	4(2)	2(1)	9(10)	19(15)	11(15)	0(0)	47(47)

5. 在所期間の状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計
男	3(2)	5(6)	4(3)	4(2)	1(1)	0(0)	0(0)	17(14)
女	3(2)	7(9)	5(5)	8(9)	4(4)	1(2)	2(2)	30(33)
計	6(4)	12(15)	9(8)	12(11)	5(5)	1(2)	2(2)	47(47)

6. 入居者処遇状況

(1)生活状況

食 事			排 泄			入 浴		
全介助	一部介助	自立	全介助	一部介助	自立	全介助	一部介助	自立
0(0)	3(2)	44(45)	3(2)	22(18)	22(27)	3(2)	35(34)	9(11)

(2)入院状況(延べ日数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
64(33)	86(36)	62(54)	101(32)	53(52)	16(45)	41(124)	61(121)	59(76)	
1月	2月	3月							
82(31)	35(58)	34(17)							

7. 入退所状況

	入所者	入所理由			退所者	退所理由		
		居宅	施設	医療		死亡	家庭復帰	他施設
男	3(2)	0(1)	2(0)	1(1)	0(3)	0(0)	0(1)	0(2)
女	3(2)	1(2)	1(0)	1(0)	6(3)	2(1)	0(2)	4(0)
計	6(4)	1(3)	3(0)	2(1)	6(6)	2(1)	0(3)	4(2)

8. 短期入所(ショート)利用者月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	6(4)	4(3)	2(2)	5(2)	4(4)	4(4)	4(2)
利用日数	110(46)	107(39)	59(35)	98(14)	108(44)	91(51)	67(42)
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
利用者数	3(3)	4(6)	2(6)	4(4)	2(6)	44(46)	
利用日数	52(61)	79(126)	45(135)	46(107)	21(97)	883(797)	

9. 短期入所(ショート)利用者年度別実績

年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用者延数	33	31	26	32	51	46	44
利用延日数	556	598	502	583	940	797	883
利 用 率	76.20	81.92	68.60	79.64	128.76	109.18	120.96

9.主な行事

月 日	行事	実施状況
4/12	イチゴ狩り	喬木村「たかぎ農村交流研修センター」にて
19	お花見	食堂にて行う(焼肉大会)
5/30	おやつの日	苺ムースケーキ、フルーツゼリー、蒸しパン、羊羹 たこ焼き、かっぱえびせんのバイキング
31	避難訓練	夜間想定で行う
6/12	日用品販売	飯田市「井川洋品店」より出張
28	主食バイキング	入居者の希望した主食を提供 五平餅、サンドウィッチ、山菜おこわ、肉うどん
7/26	かき氷会	
8/10	盆法要	
18	納涼盆踊り大会	家族・地域の方の協力により、18:30～行う
9/3	防災訓練	避難訓練と消火訓練
5	アイスクリームの日	バニラアイスにチョコソース、きなこ、あんこ、カラスプレーなど 好きなものをトッピング
13	敬老祭・家族会	余興(宮内ひろし様による歌謡ショー)
15	村民大運動会参加	天龍小学校グラウンドにて
10/10	天龍荘運動会	天龍保育所より園児4名来荘し参加
17	焼き芋	入所者有志で仕込み・準備
18	日帰り旅行	松川町「マルダイ大場農園」でブドウ狩り
11/1	衣料品販売	飯田市「キタザワ」より出張
19	天龍村文化祭	展示品出展、展示・発表会見学
21	副食バイキング	入居者の希望した副食を提供 とんかつ、野菜のかき揚げ、海老フライ、ウナギの蒲焼き、お刺身 こんにゃくの胡桃和え、酢の物、ゴマ団子、煮リンゴ
12/13	忘年会	余興(社協会長によるカラオケ)
27	餅つき	ついた餅の成形を入所者有志で行う
28	おやす作り・松飾り	
1/10	鏡開き・どんど焼き	グラウンドにて餅焼き 焼いた餅は昼食に雑煮として提供
17	新年会	余興(遠山一夫様によるマジックショー)
24	おやつの日	大福にイチゴ、バナナ、りんご、キウイ、夏みかんなど好きなもの乗せ食べる あんこの成形を入所者有志で行う
2/27	寿司会	飯田市「喜代志」より出張

10.例月行事

書道クラブ	4/18、6/14、10/4、11/8
活花クラブ	4/23、6/27、7/18、10/25、11/20
睦会	4/2、5/7、6/4、7/2、8/2、9/6、10/1、11/5、12/3、1/9、2/4、3/4
誕生外出会	4/26、5/24、6/20、7/19、11/14
組外出会	5/17、6/7、7/4、10/4
荘内消毒	5/10、6/7、7/12、11/14、3/7
アイスク	4/11、5/16、6/13、7/11、11/21

11.ボランティア・研修の受け入れ

受入月日	団体名	内容
10/16 17	天龍中学校	職場体験